

2/9 (火) 全国大会佐賀大会準備委員会

※佐賀大会は、オンライン形式での開催にする。(決定)

*8/3(火)~8/4(水)の2日間日程での開催。。。OK

(案)1日目。。。開会行事・記念講演・シンポジウム

2日目。。。分科会・分科会ごとに閉会行事(映像視聴)を行い、終了

*1日目は、誰でも視聴できるようにする。。。OK

2日目は、10分科会に分かれて、提言を視聴。

そのあと、20グループのブレイクアウトルームに分かれての協議。

分科会ごとに閉会行事の映像を視聴して終了。

*大会前に全会員に向け冊子を配布し、大会収録をHPにアップすることでもよいか？

。。。という質問には、まだ答えをいただいている。

★参加要請数は？。。。初めの要請数と同じくらいの2500名規模に。(伝えたこと)

20グループと考えると、1グループ12~13人

(意見) → 参加者を振り分けることを考えると、もう少し人数を少なくしてもいいかも。

人数があまり多くない方が話をする上でいいのでは。。。？

申込に関して、各県の事務局がアドレスまで書いてまとめるとなると、どこか間違いが出てくるので、考えた方がいい。

(各分科会の要請人数に合わせて振り分けた名簿を、佐賀に送ってもらう？)

個人のアドレスは必要？必要であれば、個人で送ってもらうか？)

★2次案内の配布から、大会開催までの大まかな日程は？

2次案内を配布してからは、分科会ごとの名簿づくり等、これまでの大会と同様の流れになるのではないかと伝えている。

*予算について、参加費を取らないとなると、現状赤字になってしまうことを伝えた。

(意見) → 足りるのであれば無料でもいいが、赤字になるのであれば、参加費を取ってもよいのでは？資料代という形でもいいのでは？

・これまでにないことなので、全公教本部からの原案をいただくことはできないのか？

→ 佐賀の案をまず出してもらい、それを役員会で決定する。

修正案に入れ込んだ形で2月26日の役員会に出してもらえれば。。。。

・予算案は、2年前に了承を得られているが、今回、岡山が紙面発表をしたことで、大きく使い道が変わった。そのことから、予算の費目の修正があったが、佐賀大会の予算も新しい費目を入れて作成すべきか？

→ 環境設備費？委託費？を石川から入れていくことにしているので、この費目を入れて修正していいのでは？お金が足りないようであれば、足りるように(参加費を取るなど)予算を組んで修正案を出した方がいい。

★記念講演やシンポジウムについては、講師やシンポジストがお互いにしゃべっているような映像ではなく、PCに向かってリモート会議のように話をしてもらった方が、参加者は自分たちに向かって話をしてもらっているといった感じ方をするので、カメラに向かって話をしてほしい。

・講師やシンポジストの方は、オーディエンスの存在を意識しながら話をしてもらいたいという想いで、会場に集まってもらうことにしていることを話した。

→ カメラでの映し方を考えてもらい（ハンディーカメラなど？）、みんなが参加しやすいようにしてほしい。

*12期2年目の研究として、提言原稿を提出していただいたが、研究の2年目をどうとらえるのか、全公教研究部として示してほしい。提言原稿の中には、平成27年度、30年度といった表記もある。佐賀としては、1年次を令和元年9月～、2年次を令和2年9月～としていたが、確認をしたい。

→ 研究部で話をしてみるとのこと。

★提言者は、きちんと提言できる状況にあるのか？

提言者研修会においては、一人のみ学校のネット環境がうまくいかず、PPが出せない状態だったため、その方のPCについては、全公教事務局で何とかならないだろうかと相談をしている。

→ 全公教事務局から、各県の事務局にリモート会議ができるPCを1台ずつ配布する予定であるため、それを利用してできるのではないかと。

<全国研究大会の開催パターン・判断規準>

<コロナ感染状況>

全国・収束している
(ステージ1以下)

②九州地方が収束

移動・出張等の行動規制なし

全国感染未だ収束せず
(ステージ2)

移動・出張等の行動規制なし

教育委員会・所属長判断

緊急事態宣言

広範囲感染中

(ステージ3・4)

行動制限あり

Ⅰ. 参会型 …… ★運営者・参加者が会場に参集して行う

■1500人規模の会場準備 ■全会員向けビデオ録画研修を併用する

I-① 参加要請数50% (3密の回避)

I-② ブロックのみ参加 (九州地方の状況による)

Ⅱ. 無参会型 …… ★運営側(講師・提言者・運営者)のみ参集

★代表参加者はオンラインで地元から参加。

■会場用意(学校程度) ■全会員向けビデオ録画研修を併用する

II-① サテライト会場方式 (各組織の会場 Zoom オンライン)

II-② 各組織 代表参加制 (各組織数名・各自 Zoom オンライン)

Ⅲ. オンライン型…★全員オンライン(参集なし)・運営者のみ参集

■会場用意(事務局程度)

III-① 各組織 代表参加制 (各組織数名・各自 ZOOM オンライン)

■全会員向けビデオ録画研修を併用する

III-② 全会員 ビデオ録画研修 (全て事前録画による) *協議なし

令和3年度の全国公立学校教頭会研究大会佐賀大会の準備を進めていただいております。ありがとうございます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が延長される状況にあり、研究大会も参集型は難しく、Zoomによるリモートでの開催になりそうです。

したがって、記念講演やシンポジウムの視聴、分科会でのグループ内での意見交換をZoomで行うことを検討しています。佐賀県内の先生方にも、各学校でZoomによるリモート参加をお願いするようになるため、学校からの参加が可能であるか確認させていただきたいと思っております。

Zoomでの参加のためには、次の環境が必要です。

- ① Webカメラ内蔵のPCがある。または、外付けのマイク付きWebカメラがある。
- ② PCにZoomのソフトがインストールされている。

学校の業務用PCは、ほぼWebカメラ内蔵型ではないと思われまます。パソコン室の生徒用PCは、Webカメラ内蔵型かもしれません。

市町のセキュリティによっては、Zoomソフトがインストールできない場合もあるかと思っております。

Wi-Fi環境が整っていれば、個人のタブレットPCやスマートフォンでも可能です。

※ 学校にZoom利用環境が整ってなくて、自宅ならば可能という場合、自宅での研究大会参加というのは服務上可能なのか。出勤？出張？職免？

そこで、次の2点について、御回答ください。

【設問】

Q1 Zoomでの研究大会参加は可能ですか。

- ① 勤務する学校から参加できる。
- ② 自宅からであれば、参加できる。
- ③ 近隣の学校に行けば、参加できる。
- ④ 利用環境が整っていないので、参加は困難である。

Q2 Zoomを利用したことがありますか。

- ① 利用したことがある。
- ② 利用したことはない。

以上、思い付きで書いていて、まとまっていません。

調査方法としては、利用できない学校の数を把握するだけであれば、Web アンケートにすれば、集計は自動でできると思います。各学校の状況をそれぞれ把握するとなると、メールでそれぞれから回答を求めるか、各地区の理事さんに把握してもらって報告を受けるかになりますが、佐賀市や唐津市はたいへんだろうなと思います。メールで回答してもらって集約するのは、私がやっても構いませんが…。

ブレイクアウトルームのグループ設定もどれくらいの時間がかかるのか、やってみないと分からないなと思っています。

例えば、運営委員全員に Zoom に入ってもらって、グループ分け設定を試してみるなどをする必要があるかと思います。できれば、実際の人数に近い佐賀県内の全副校長・教頭先生にログインしてもらった方がより良いでしょうが…。各学校からのログインの練習にもなりますし…。

全公教佐賀大会に向けて

* 必須

1. Zoomでの研究大会参加が可能ですか？ *

- 1. 勤務する学校から参加できる
- 2. 自宅からであれば、参加できる
- 3. 近隣の学校に行けば、参加できる
- 4. 利用環境が整っていないので、参加は困難である。

2. Zoomを利用したことがありますか？ *

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことはない

送信

パスワードを記載しないでください。不正使用を報告する

このコンテンツはフォームの所有者が作成したものです。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。Microsoft は、このフォームの所有者を含むお客様のプライバシーやセキュリティの取り扱いに関して一切の責任を負いません。パスワードを記載しないでください。

Powered by Microsoft Forms | プライバシーと Cookie | 利用規約